

第 23 期第 8 回 地域農林経済学会 常任理事会

日時：2022 年 9 月 23 日（金・祝）15:15～17:30

場所：オンライン（zoom）

議長：足立芳宏

記録：高田晋史

出席者：秋津元輝（途中参加・中座）、浅見淳之、足立芳宏、大仲克俊、ケジャブ・マハラジャン、鬼頭弥生、草处基、関根佳恵、高田晋史、辻村英之、中塚雅也、南石晃明、西村武司、野中章久、松下秀介、堀田学、増田忠義、矢倉研二郎、山口道利、山下良平（中座）（以上 20 名、五十音順）

浅見会長より開会の挨拶がなされた。

議事に先立ち、前回議事録の確認がなされた。

【議題および報告】

(1) 2021 年度事業報告、2022 年度事業中間報告、2023 年度事業計画

鬼頭庶務担当理事から、2021 年度事業報告、2022 年度事業中間報告、2023 年度事業計画についての説明がなされた。

(2) 2021 年度会計報告、2022 年度会計中間報告、2023 年度予算案ほか

山口会計担当理事より、2021 年度会計報告（監査報告）、2022 年度会計中間報告がなされ、また 2023 年度予算案についての説明がなされ承認された。

(3) 学会誌編集状況について

矢倉編集担当理事より学会誌編集状況について報告がなされた。

(4) 会員異動、会費長期滞納者への対応・学会 HP 更新について

堀田組織広報担当理事より、新入会員の状況について説明があり、承認された。

また、学会英略称について ARFE と ARAFE が用いられているが、どちらに統一するかは統一する際のコストを踏まえて検討することとなった。

続いて、辻村組織広報担当理事より、国立国会図書館インターネット収集保存事業についての説明がなされ、そこで学会 HP の情報を記録することが提案され承認された。

(5) 学会諸賞の選出について

南石選考委員長から学会諸賞の選考理由およびプロセスについて説明があり、学会特別賞、学会誌賞の選考結果および選考理由について説明され、承認された。

(6) 学会 HP の英語化・学会名英語表記について

増田国際化担当理事より、学会 HP の英語化について説明があり、各担当に対して関係する単語の英訳についての確認依頼がなされた。

(7) 各種規程の改正について（前回からの継続審議分）

松下企画担当理事より、個別報告優秀賞表彰規定の一部改正、個別報告優秀賞審査手続き細則、個別報告の申込および発表要領の一部改正について提案がなされ、審議の結果、原案通り理事会に付議することとなった。ただし、報告要旨の却下のあり方については継続審議することを確認した。

(8) 旅費内規および旅費調書の改正について

山口会計担当理事より、旅費内規および旅費調書の改正について説明があり、審議の結果、承認された。

(9) 地域農林経済学会会則の改正について

鬼頭庶務担当理事より、地域農林経済学会会則の改正について説明があり、原案通り理事会に付議することとなった。

(10) 第 24 期理事候補者の選出結果について

鬼頭庶務担当理事より、第 24 期理事候補者の選出結果について説明があり、原案通り理事会に附議することとなった。

(11) 理事会・総会へ付議する議題について

鬼頭庶務担当理事より、理事会・総会へ付議する議題について説明がなされた。

(12) 理事会・総会の資料作成について

鬼頭庶務担当理事より、理事会・総会の資料作成について説明がなされた。

(13) 2023 年度学会大会の開催地について

浅見会長より 2023 年度学会大会の開催地が広島大学となったことについて説明があり、開催校代表としてマハラジャン国際化担当理事から挨拶がなされた。

(14) その他

浅見会長より、農山村地域調査における全数調査継続に関する要望書を提出することについて提案があり、承認された。また、日本学術会議による「未来の学術振興構想」の策定に向けた「学術の中長期研究戦略」の公募に関する情報提供がなされた。

続いて、鬼頭庶務担当理事より、業務委託契約の更新について説明がなされた。

さらに、マハラジャン国際化担当理事から、国際ミニシンポジウムと国際シンポジウムの名称を国際シンポジウムに統一したい旨の提案があり、この提案に沿って検討していくこととなった。

南石副会長より挨拶があり閉会された。